

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2006-74411(P2006-74411A)

【公開日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2006-011

【出願番号】特願2004-255058(P2004-255058)

【国際特許分類】

H 04 N 5/91 (2006.01)

G 11 B 27/034 (2006.01)

G 11 B 27/34 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/91 N

G 11 B 27/034

G 11 B 27/34 P

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月28日(2007.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動画像を取り込みデジタル信号に変換するカメラ部と、

前記デジタル信号に変換された動画像に対し符号化を行ない、第一の符号化映像ファイル、第二の符号化映像ファイル及び前記第一の符号化映像ファイルと前記第二の符号化映像ファイルとの相関関連情報を生成する符号化部と、

前記第一の符号化映像ファイル及び／又は前記第二の符号化映像ファイルの復号処理を行なう復号化部と、

前記復号化部で復号化された動画像を表示するモニタ部と、

前記第二の符号化映像ファイルに対する編集命令を入力するユーザインタフェース部と、

前記編集命令に従い第一の符号化映像ファイル及び／又は第二の符号化映像ファイルの編集情報を生成する編集部と、からなるシステムであって、

前記編集部が、前記ユーザインタフェース部からの編集命令に従い第二の符号化映像ファイルに対する編集情報を生成すると共に、前記相関関連情報を元に、第二の符号化映像ファイルに対する編集情報に対応した、第一の符号化映像ファイルに対する編集情報を生成し、該編集情報に基づき第一の符号化映像ファイルに対して編集処理を実行する動画像編集システム。

【請求項2】

前記第二の符号化映像ファイルが、前記第一の符号化映像ファイルに対して低解像度である請求項1に記載の動画像編集システム。

【請求項3】

前記第二の符号化映像ファイルが、前記第一の符号化映像ファイルに対して低ビットレートである請求項1に記載の動画像編集システム。

【請求項4】

前記第二の符号化映像ファイルが、前記第一の符号化映像ファイルに対して低フレーム

レートである請求項1に記載の動画像編集システム。

【請求項5】

前記相関関連情報が、前記第一の符号化映像ファイルと第二の符号化映像ファイルとの間で対応するG O P先頭位置に関する情報を有する請求項1に記載の動画像編集システム。

【請求項6】

前記相関関連情報が、前記第一の符号化映像ファイルと第二の符号化映像ファイルとの間で対応するフレーム位置に関する情報を有する請求項1に記載の動画像編集システム。

【請求項7】

前記符号化部及び／又は復号化部が、前記第一の符号化映像ファイル及び前記第二の符号化映像ファイルのシーン切替位置を検出し、前記第一の符号化映像ファイルと前記第二の符号化映像ファイルとの間で対応するシーン切替位置の情報を前記相関関連情報に含まれる請求項1に記載の動画像編集システム。